

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	家電量販店（店長） 乗用車販売店（経営者） 乗用車販売店（販売担当） タクシー（経営者） ゴルフ練習場（経営者）	販売量の動き 販売量の動き お客様の様子 お客様の様子 単価の動き	・オリンピック以降、大型商品の動きが良くなってきている。 ・低価格車の販売が多く、ユーザーからの交渉も厳しいことから、高利益は望めないものの、新車、中古車ともに売行きがやや上向き傾向にある。 ・来客数が増加するとともに、客が購入する車が少しずつ高額になってきている。中古車も高額車が売れるようになってきているので、景気は良くなってきている。 ・深夜の売上が良くなっている。 ・単価の安い商品だけでなく、高額品が少し動いてきている。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・街の催事等が開催されると多くの来客があるが、終了と同時に元の誰もいない通りに戻る。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・彼岸になっても真夏の暑さが続き、消費者はぐったりしてあまり食欲が出ないので、食品関係の商売は良くない。
		スーパー（統括）	単価の動き	・買物頻度の増加に伴い、来客数は相変わらず増加しているが、買上単価の落ち込みも続いている。衣料品は単価の落ち込みと残暑による秋物の不振で、苦戦を強いられている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・相対的な販売量は変わらないが、朝の客足の動きが良くなり、夕方から夜にかけては鈍る傾向にある。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・ジュエリーやバッグなどの展示企画により客単価が上昇し、全体の売上は3か月前、前年の実績を大幅に上回っている。一方、婦人服は残暑の影響で15%程度減少しているので、総じて変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・残暑が厳しく、客はなかなか夏物から秋物に移行せず、買い控えをする傾向にある。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・台風上陸ごとに朝晩が涼しくなり、羽織ものなどの秋物が動く期待したが、実際はカットソーなどの単品購入が多く、客単価は上がっていない。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・オリンピックが終わり、需要が一段落しているが、秋からの需要回復もみえ始めてきている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の販売台数は依然として前年比50%で、回復していない。
		住関連専門店（店長）	単価の動き	・客はできる限り安い商品を購入しており、必要以上の購入はしない。
		その他専門店〔携帯電話〕（営業担当）	販売量の動き	・キャンペーンの谷間で新機種の販売もない時期であるが、新規、機種変更を合わせた販売台数はあまり変動がない。新規販売の減少を機種変更で補っている。
		高級レストラン（店長）	販売量の動き	・秋の行楽シーズンに向けて、客が外食を控えて節約している様子が顕著に表れている。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・婚礼シーズンとなったが、前年度よりも大幅に婚礼組数が減少している。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・前年比で宿泊費がマイナス15%、集宴会もマイナス20%と低調である。単価も上がらないのに料理の原価は高く、収益が悪い。
	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・客単価が一向に回復しない。宴会関係の単価は5,000~6,000円程度、生ビールフェアなどは3,000円以内が定番となっている。	
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・秋の行楽シーズンに入っているが、相変わらず団体旅行が少ない。	
	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・個人旅行及び団体旅行の年配客は比較的堅調に推移しているが、企業の社員旅行等の状況は真っ暗である。	
	観光名所（職員）	お客様の様子	・客の入込は例年並みであるが、自分の別荘等で食事をする客が多く、レストラン、ホテル関係の売上は例年を下回っている。	

	遊園地（職員）	来客数の動き	・3連休にしっかり営業できたことから、月間では前年数字を確保したものの、好調という表現には至らない。
	ゴルフ場（支配人）	単価の動き	・猛暑による来場者減を取り戻すべく、周辺コースでもプレー代値引きによる誘客が進んでおり、来客数は確保しているが、客単価は全く伸びず、売上が増加しない。
	競輪場（職員）	単価の動き	・入場者数が減少しており、それ以上に購買単価が低下している。
	その他サービス 〔自動車整備業〕（事務長）	来客数の動き	・自家用車の在庫量が増加しない。ディーラーの囲い込みが強くなっており、初回、2回目の車検入庫は非常に少ない。
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・当社の仕事量は多少増加しているが、同業他社は忙しいかそうでないか、はっきり分かれている。トータルではそれほど変わらない。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・全体的に需要が停滞している。地価等は下げ止まりつつあるが、まだ鈍い状態が続いている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・台風の影響もあってか固定客の来店が主でフリー客が少なく、来客数がかかなり減少している。例年であれば夕方の商店街は運動会や行楽の買物をする子供連れの主婦が目立つ時期であるが、今年は少ない。
	商店街（代表者）	単価の動き	・ある程度の来客数はあるが、高級品は一つも売れず、安物ばかりの動きで単価が低く、売上が少ない。
	一般小売店〔金物〕（経営者）	販売量の動き	・鉄鋼材料の値上げ、原油価格の高騰による諸物価の値上げ等で仕入価格が上昇し続けている。値上げを売り先に転嫁できる状況ではないので、収益は一層悪化傾向にある。
	百貨店（店長）	販売量の動き	・前年に比べ、今月の販売は90%強、中でも外商は50%と非常に悪い。
	スーパー（経営者）	単価の動き	・高級食材も売れているが、食品に対する購入意識はまだ低単価に向かっている。
	スーパー（経営者）	単価の動き	・3か月前と比べ、売上が1.6%減少している。客単価も前年比で3%低下しており、一向に下げ止まる気配がない。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・彼岸までは来客数、販売量ともに良かったが、近隣のショッピングセンターが23日にキーテナントを変更してオープンしたため、マイナスの影響を受けている。
	その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	単価の動き	・最近の原油高で仕切り単価が非常に上昇しているが、思うように販売価格への転嫁はできないので、影響を受けている。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・郊外大型チェーン店の影響なのか、この3～4か月地元客の来店が減少している。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・ここ何年も人通りが減り続けており、今月はまた少し厳しい。宴会の予約数は前年と変わらないが、小さい宴会が多く、大規模な会は減少している。更にフリーの客が少なくなっているため、前年より悪くなっている。
	タクシー運転手	単価の動き	・利用件数の落ち込みはあまりないが、長距離の客が減少している。会社で利用する客はさほどではないが、一般の客は短距離のみで、長距離利用は非常に少なくなっている。
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・全般に受注は依然少ない状況にある。行政の仕事はなく、民間からの発注も極めて少ない。個人住宅の建築についても、意欲はあるが決断に至らない。
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・今月は賃貸関係、住宅販売とも、ほとんど引き合いがない状況である。	
悪くなっている	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・運動会のシーズンで運動用品が売れているが、来客数の動きが悪く、販売量が減少し、良い状況ではない。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣にライバル店がオープンし、来客数がかかなり減少している。
	衣料品専門店（販売担当）	販売量の動き	・本来夏の暑さはありがたいが、今年は異常に暑く、客の出足が鈍り、購買意欲も湧かなくなっている。台風も多く、買物に出るのを我慢し、あきらめている。

		タクシー運転手	お客様の様子	・8月の盆以降、タクシー利用が激減している。金、土曜日でも売上は2万円がやっとであり、平日は1万5千円程度、日曜日は1万円以下の状況となっている。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・秋口に入り四輪駆動車向けの部品が増産となり、24時間フル操業で対応しているが、要求数にこたえきれない状況である。また、他社でこなしきれずにあふれた仕事で、新規客からの引き合いが増加している。
		精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・原料高、外注費の上昇などで利益率は良くないが、受注が多くなっている。
変わらない		食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・スーパーの売上が落ち込んでいると聞いているが、新規取引先の開拓や新製品の開発により、前年以上の水準を確保している。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・半導体関連分野は好調で納期も忙しくなっている。設備の稼働を上げるために2直体制をとっている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は天候に左右されることが多く、難しい面もあるが、総じて前年と変わらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・製造業の加工関係は稼働が高くなっている。他の製造関係は依然として低コストに悩んでおり、企業間格差は一段と進んでいる。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・特別な仕事が入り、7～8月はとても良かったが、現在は通常に戻っている。取引先の企業間格差が徐々に開いてきており、とても良い2社と変わらない1社、かなり落ちている2社がある。どちらの波に乗れるかによって当社の動きも変わってくる。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・ワンシーズン先の輸送依頼がかかる時期であるが、残暑の影響で予定がずれ込んでいる。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・相対的に受注量は増加傾向にあるが、同じ業態の取引先でも、企業の収益格差により、前年に比べて情報化投資が増加している先と減少している先が顕著に表れている。
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・7～9月は前年同期と比べ、CMの受注件数は6%程度増加しているが、大手企業からの年間契約の落ち込みが響き、売上全体では3%程度の減少となっている。
やや悪く なっている		不動産業（管理担当）	取引先の様子	・取引先の清掃業者からは、テナントが清掃回数を見直し、毎日から一日おきになったり、時間を短くされたりし、仕事量が減少していると聞いている。最近入居したテナントも清掃は自分で行うということで受注できなかったということである。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・夏の商戦は猛暑の影響で良いところと悪いところに分かれている。広告出稿量は前年並みであるが、制作物の仕様の簡素化や、チラシロットの縮小による経費圧縮傾向が目立っている。9月の販促は前年同期比で2割ほど落ち込んでいる。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・チラシ出稿量は前年比95%で、今年に入って最も悪くなっている。スーパー関係は前年並みで推移しているが、衣料関係は8月後半から落ち始めている。9月に入ってから鉄道は乗客数が減少し、ホテルも前年を割る状況と聞いている。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・金融機関の担保設定の登記が減少している。これは前向きな融資が減少していることの反映である。
悪く なっている		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事削減の影響で、売上は前年度の50%で推移している。一般経費の削減に努め、前年度より15%削減しているが、売上の減少により当期は赤字決算となる。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・8月以降求人広告が伸び続けている。地方でも広い意味のサービス業だけが重点であったものが、広い意味の製造業も広告を出すようになってきている。派遣からの募集だと集まりが悪いので企業が直接広告を出しているようである。2～3年前からみると高水準で伸びてきている。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・ハローワークに職を求める人が減少しており、新規求人数が増加しているため、やや良くなっている。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・有効求職者は、5か月連続して減少している。求人数は、新規、有効求人数とも3か月前に比べ増加している。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・ホテル、アミューズメントなどのサービス業、販売業など、時期的に少ないと思われる求人問い合わせが散見される。
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・同じ製造業でも、取扱製品により景況が微妙に違う。例えばIT関連メーカーにおいて、開発プロジェクトが一段落したところは派遣契約をいったん終了しているが、引き続き生産計画が順調に拡大しているメーカーからは追加の派遣要請がある。携帯ショップにおいても、市場が飽和してきたのか販売スタッフを縮小するところがある一方で、引き続き雇用を継続するところも多い。総じて考えると景気は横ばいである。
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・求人の増加はあるものの、正社員はサービス業に多少みられる程度で、特に製造業は人材派遣が多く、全般にパート、アルバイトの募集が多い。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・依然として派遣、請負で対処する傾向が続いている。求人数は微増傾向にあるが、就職数はあまり伸びていない。
	学校〔大学〕（総務担当）	採用者数の動き	・企業の就職担当者が、学生が内定したとあいさつに来る時期であるが、就職希望者の内定率はまだ100%に達していない。
やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・電機、電子、機械関係、自動車関連の生産が伸びてきており、求人数は増えているが、求職者の集まりが悪い。住宅関連は現状の人員、コストで対応しており、厳しい。
悪くなっている	-	-	-